



No.33 2014.6.26 発行
群馬県立高崎高等学校 翠巒体育会報
<http://www5.wind.ne.jp/t2suiran/>



翠巒体育会40年の足跡

40th
Anniversary
記念特別企画

昭和49年5月に創立され、このたび40周年を迎えることになった翠巒体育会。それを記念して5月8日、高崎ビューホテルにおいて歴代4名の会長にお集まりいただき座談会を開催いたしました。座談会では、会長就任当時の思い出や在任期間中の出来事、次代の翠巒体育会に対する提言などを侃侃諤諤と語り合っていました。

Talk 1 会長就任当時を振り返って

高橋: お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。翠巒体育会は、おかげさまで40周年を迎えることができました。これを記念し、本日は、歴代会長の皆様にお集まりいただき、忌憚のないご意見を賜りたいと存じます。まずは、会長に就任された当時を振り返っていただきたいと思います。それでは、翠巒体育会の礎を築かれた初代会長の國峯さんからお願いします。

國峯: あの頃は、校歌にも「風吹き荒ぶ学び舎」と詠われているように、まさにその通りで、まだ学生運動も盛んな時期でした。各クラスに行くと、アジビラが貼られていたりして、卒業式が国公立の二次試験と重なる関係もあり、3分の1位が欠席でした。生徒は、かなりやんちゃでしたが、元気がいいというより、逸脱していた感がありました。その様な環境下において高校総体では4位あるいは5位という成績でした。

昭和48年夏、私の現役時代からずっと運動部の後援をしていただいていた

井上房一郎氏(15期)から、指月庭の前で「私も年老いてきたので、君たちが私の代わりに運動部の面倒を見てもらえないか」と相談されたのです。そこで「井上さんは財力があってお金の面から支援されましたが、私にはないので組織で応援したい。それでよろしいですか」と申し上げたところ、「それは自由だ」という言葉をいただいたので、まずはサッカー部のOB会を立ち上げました。

するとOBの中から、「この様な会はサッカー部だけでももったいない。各運動部もOB会を組織して現役を応援するような体制を考えてもらえないか」という声が上がったのです。そこで、同級生の反町定夫君(50期バスケ)、織茂広昭君(50期バレー)等に「運動部OB会の連合会を創ろう」と声をかけたところ、賛同していただき、翠巒体育会の立ち上げに向けた取り組みを始めることになったのです。

ただ、懸案となったのは、どの年代まで声をかけるかということでした。どこかで線を引かないと、なかなか組織づくりは上手くいかないので、やむを得ず戦後の卒業生で役員を選出することにしまし

た。戦前まで遡ると、組織運営が複雑になることに加え、戦後に創部されたラグビーやサッカー、バレーボール等が力をつけてきた時期だったからです。当然のように、先輩諸氏からはお叱りを受けることになりましたが、「申し訳ありませんが、5年、10年とこの先の翠巒体育会の動きを見て欲しい」とお願いして、ご了承をいただく努力も行いました。結果、数年後には「いい組織ができたね」と評価していただくことができたのです。

もちろん、せっかく立ち上げて、襻を次の人に渡さなければ意味がないので、岩田君に第2代の会長を引き受けてもらったときには、これで翠巒体育会が続くと安心しました。

岩田: いま翠巒体育会ができるまでのいろいろな苦勞を國峯さんから伺うことができましたが、私も当時会員として設立時の話を耳にしていたので、会長就任の要請をいただいたときには、「自分には会長という重責を果たすことはできない」と、初めは固辞しました。しかし、國峯さんから「岩田君は知名度があり、高崎の卒業生で君を知らぬものはいない。もし、何かあった時は必ずフォローする

から」と言われ、会長を引き受けることを決意したのです。

翠巒体育会を維持継続していくことがどれほど大変なことかは、当初から覚悟していました。私は現場主義ですから、個別に強化していくことはできても、全体をリードしていくことは無理なのはどの思いもあったのです。そこで、会則にもある「会員相互の親睦互助」を重視し、各運動部OB会が仲よく継続していくことを一番に考えた組織の運営を心掛けました。

高橋：山口さんの就任当時は、いかがでしたか。

山口：私が岩田さんから引き継いだ当時は、先輩から指名されればイヤとはいえない時代だったので、無条件で引き受けました。語弊を恐れず言えば、やらされたようなものですね。でも、幸いなことに、私の同期の仲間が各運動部のOB会の会長をしており、翠巒体育会の運営がやりやすい面はありました。サッカー部、野球部、軟式テニス部(現ソフトテニス部)、そして剣道部のOB会長が、ほぼ同じ卒業期で、同世代の仲間恵まれた状況にあったのです。

高橋：私の場合は、山口さんから20年の若返りで襷を引き継ぐことになり、当然それが大きなプレッシャーになりました。オリンピックで金メダルを獲った男子バレーボールの松平康隆元監督の著書に「あえて火中の栗を拾うのも男だ」という言葉があって、それに「翠巒魂」を感じたことも会長を引き受ける決断を下した要因のひとつでした。

高高は人財の宝庫ですから、私より素晴らしい先輩方が20年の間にはたくさんいらっしゃいます。しかも、20年もの若返りということで、当時の同窓会の先輩方は私のことをご存知でない方がほとんどだったと思います。そのため「高橋とは、どういった人間か」というところからのスタートでした。でも、さすが高高のOBだけあって、全力で動きまわる私を早々に認めていただき、先輩そして後輩、多くの皆様に支持していただけるようになりました。

それとともに大きかったのは、同期で会計の吉井章一君(78期山岳)と事務局の富田和弘君(85期応援)の2人がずっと一緒に頑張ってくれたことです。この場を借りて、改めて感謝したいと思います。



翠巒体育会初代会長
(昭和49年5月～昭和62年3月)
サッカー部OB(50期)

國峯善次郎

Talk2 在任期間中の行事・思い出

高橋：次に会長在任中に取り組んだ事や思い出について、振り返っていただきたいと思います。

國峯：翠巒体育会を立ち上げた当時、運動部の成績はパツとするものではありませんでした。ちょうど中野敏宗校長が在任されていた時期で、ご自宅まで訪ね、「運動部を強くするために、3分の1くらいを推薦入学で採ってほしい。そうすれば県大会優勝も夢ではない」とお願い



翠巒体育会二代会長
(昭和62年4月～平成7年3月)
バスケットボール部OB(53期)

岩田 武雄

いたこともあります。そのときは「発想としてはいいけれども、県立高校では難しい」という返事でした。でも、その後、同級生で母校愛の強い金井秀一君(50期)が平成2年、校長として高高に赴任することになり、時を同じくして、成績と特別活動による推薦入学制度が群馬県の公立高校でスタートしました。

翠巒体育会発足当初は、顧問の先生方から警戒されないよう、活動は校門までにしようという申し合わせをしていました。また、会報を発行している組織と会報を持たない組織では、社会的な信用度が大きく異なるので、どうしても会報誌を作りたいと思っていました。そこで、同級生だった田中彰君(50期サッカー)が高女の先生として同窓会報を長く編集していた経験があったことから、会報の編集をお願いしたところ、快く引き受けてもらうことができました。おかげで、プロの目から見ても、褒めてもらえる会報誌ができたのです。ただ、原稿がなかなか集まらないのには苦労しましたね。組織は5月15日に発足したのに、会報誌が創刊できたのは10月になってしまいましたから。

また、安藤維朗君(57期サッカー)が高島屋の支店長をしており、高島屋ローズで翠巒体育会の総会を開くことができたことや、「運動部OB会の入会のすすめ」を作って、現役運動部員に向け配布したことなども、非常に印象に残っています。おかげで、翠巒体育会発足から5～6年ほどで各運動部のOB会が設立できるように記憶しています。残念だったのは、学芸部でも体育会のように生徒を応援する組織を創るよう働きかけたのですが、立ち上げることはできませんでした。

岩田：私の仕事としては、翠巒体育会の会員名簿を制作したことが一番印象に残っています。会長に就いて2年くらい経ったときだったと思うのですが、各OB会から名簿を作ろうという機運が盛り上がってきたのです。そこで「自分たちの戸籍をきちんと創ろう」という想いで取り組むことになりました。当時、13から14部くらいあったと思いますが、なんとか名簿を作り上げることができたわけです。

高橋：おかげさまで、パソコンの無い時代、各OB会とも非常に助かりました。

國峯：私はいまでも大切にとってありま

すよ。

岩田：会員名簿ができたことにより、各部OB会の縦のラインから横のラインまで繋がるようになりましたから、自分の仲間がいま、どういう位置にいるとか、どのような仕事をしているかといったことがわかるようになりました。連絡網として非常に役立つかもしれませんね。

山口：あれは本当に良かったですね。いまなら、個人情報保護の関係もあって、容易には作れないでしょう。横の連絡をとるには、どうしても必要なものですよね。

國峯：岩田君の柄に似合わない緻密さが発揮された実績だと思います。(笑い)

岩田：当時、私が保険会社の営業所長をしていたので、度々、事務所で翠巒体育会の役員会を行いました。会議が終わってからも、熱心な秋池宗一郎君(65期水泳)から「会長、一杯行きましょう」と誘われることがよくありました。お酒を酌み交わしながら話をするのは、常に翠巒体育会のことで、いろいろな提案をしてもらいました。

國峯：私も秋池君からは、いろいろな提案を受けましたね。特に「国峯さんは金儲けが下手だ。私が教えるから」と言われたのが思い出に残っています。大変な情熱家で、翠巒育英会を立ち上げた影の功労者でもありました。

高橋：山口会長の時代、財政の確立に力を尽くされたイメージがあります。

山口：確かに翠巒体育会の運営にあたっては、現役を支援するにあたってお金も必要であることから、財政のことには人一倍、気を配りましたね。

具体的には、在任中に100万円を残すことで、現役支援に備えたいという目標を立てました。そこで、いろいろなことを考え、そのひとつとして高崎スプリングフェスティバルにバザーを出店することにしました。各部OB会に相談して、贈答品をはじめ様々な日用品を寄付していただき、会場で販売することを数年ほど続けました。高級品類も多かったのですが、男ばかりで、しかも早く完売したいため、激安値段を付けて販売したので、毎年開店前に常連のお客さんが行列するほどの盛況になりました。会長を辞める際には、財政的に99万円以上が残り、ほぼ目標を達成することができました。

そして、もうひとつの思い出としては、



翠巒体育会三代会長
(平成7年4月～平成15年3月)
卓球部OB(58期)

山口 正敏

一挙に役員若返りを果敢としたことです。私が58期で、現会長の高橋君が78期なので、いろいろ問題はありましたが、結果的に20期若返りを図ったこととなります。高橋君には、期待以上の熱意で頑張ってもらっていると感じております。

岩田：お金の話が出たので思いだしたのですが、私が会長時代に会報誌に寄稿してもらうため、柔道部の大先輩で群馬県の体育協会の名誉会長もされた羽鳥治良松氏(30期)の自宅に伺ったことがあります。そのとき、会報を見せながら高高運動部の現状等をお話したところ、



翠巒体育会四代会長
(平成15年4月～現在)
バレーボール部OB(78期)

高橋 浩生

ご本人が「高高に対して何もできていない」という強い思いをお持ちだったようで、翠巒体育会の活動にいたく感動され、「機会があれば、寄付金を出すから」と言われたのです。探せば、何かの機会に高高を支援したいと思っている方がおられるということを実感しましたね。

山口：その点、國峯さんは「お金があろうとなかろうと、やることはやるんだ」というスタンスでしたよね。(笑い)

会報の印刷費が、その年度に払えない時代もあった。支払いを待ってもらったことが懐かしく思い出されます。

國峯：そうですね。そのような時代もありました。初めの頃は、会費が人数の多い部で1万5000円、少ない部で1万円くらいだったと思います。

高橋：山口会長の時代、私が会計を担当していたので、よくわかります。会員には非常に不人気だったバザーですが、会計としては非常にありがたかったですね。また、堤康高氏(71期卓球)から著書を購入して得たお金を寄付していただき、会計に組み込んだこともあります。これも大きかったですね。

山口：財政面を強化して、翠巒体育会の事業運営が円滑にできるようにしていきたいと思っていました。翠巒体育会として、大した支援もできないのでは、肩身の狭い思をしてしまいますからね。

高橋：私が取り組んだ行事としては、まず太陽誘電の女子選手を招き、ソフトボール大会を開催しました。また、ゴルフ大会に合唱部OB会を招待し、これは現在も継続中です。プロ野球で交流戦が始まった時期に、翠巒体育会も学芸部OBと交流ができればということで、最初に合唱部に声をかけたのです。そして「翠巒学芸部」にまで発展する一助になればと思ったのですが、実際にはそこまで力及ばずということになっています。

自分のなかで一番気に入っていて、先輩方からも評価されているのが平成22年よりスタートした活性化忘年会です。各OB会に「必ず幹事期より若い世代を参加させてください」と呼びかけて開催したところ、100期代の若手まで出席するイベントとなったのです。これで歴代会長の方々と同じように、安心して襷を次に繋げることができると思いました。

Talk3 次代の翠巒体育会に贈る言葉

高橋：最後に、次代の翠巒体育会への提言を賜りたいと思います。

山口：同窓会も翠巒体育会も新陳代謝していくことが重要だと思います。そのためには、できるだけ若い人との交流、つながりを持っていくことが非常に大切です。今の若い人たちは、年配者と交流する環境が乏しく、苦手になっている人も多そうです。そこに翠巒体育会の役割があるのではと感じています。ところが、若い人たちにとって、幅広い年齢層と交流する意義は理解しにくいようで、とても心配しています。いざという時に会うのではなく、普段から交流を深めていくこと、それが何かの時に役に立つのではないのでしょうか。それが目的というわけではありませんが、生きていく上ではそうしたことも必要だと思います。

岩田：高高という、かつては「文武両道」と言われていましたが、最近は「文はいいけれども、武はもうひとつ」と言われることが多くなっているように感じます。それも翠巒体育会の会合の際に、よく聞くことなので、とても残念に思っています。翠巒体育会は連合体ですが、各OB会で切磋琢磨し、高高運動部を強化していただくことも大事だと思います。

國峯：確かに40年を見てきて、近年はぬるま湯にどっぷり浸かっている感があります。男の集団としては、もっと激しいモノがあってしかるべきです。例えば、サッカー一部では毎年、初蹴り会をしているのですが、その際、現役に歴代の会長を紹介するくらいのことはしてもいいのではと思います。「生みの親、井戸を掘った人の恩を知る」ことが大切なのに、先輩後輩の絆が希薄になってしまっていることは事実でしょう。OBとして「いざ鎌倉」の際には、ひと肌脱ぐ気があるので、現役や若手OBにも人の輪の大切さを感じてほしい。

また、保護者会との関係についても同様です。保護者会も各部でしっかり組織されているようですが、互いの意思疎通が不足しているように思います。保護者会の会合には翠巒体育会の役員も参加しているにもかかわらず、試合を見に行くと、別々の場所に集まってそれぞれ

40th Anniversary 翠巒体育会40年の足跡



で応援している状況です。これでは、もったいない。現場で一緒になって応援することも必要です。

岩田：現役の強化ということで、私から提案があります。県総体は5月に開催されますが、翠巒体育会の総会があるのは、それが終わってからなのです。いま学校は、総体に相当力を入れているので、できれば総体の前に総会を開催して、先生方を激励するというのはいかがでしょうか。

高橋：5月に総会を開催することを検討したこともあるのですが、「試合前はやめてほしい」という先生方の意見もあって実現しなかった経緯があります。

ちなみに昨年の総体では男子総合成績で第2位になっています。前橋育英高校が1位になっていますが、出場競技種目数による基礎点の影響もあるようです。

國峯：先生方にとっても、異動などの関係で5月は何かと忙しい時期なのかもしれませんね。

山口：自画自賛ではないですが、常々、翠巒体育会に対しては非常に誇らしい気持ちをもっています。というのも、他校のOBが「翠巒体育会のような組織を創りたいから教えてほしい」と私のところに来たので、アドバイスをしたことがあるのですが、結果としてできていないのです。

國峯：我々を真似て高崎商業高校が秀麗体育会を組織したのですが、「何をしたらいいかわからない」という相談を受けたので、「翠巒体育会と合同で新年会でもしましょう」と言ったのですが、残念ながら未開催の状態です。

山口：部活動のOB会で、かなり充実したところはあるようですが、翠巒体育会のようにOB会が横の交流をするための組織はないかもしれませんね。

國峯：全国的に見ても、高校OBによる

団体で体育会や育英会があるのは高高だけで、大いに誇れるものです。

岩田：私も宇都宮高校の同窓会長から「翠巒体育会について教えてくれ」という依頼を受けたことがあります。同窓会長をもってしてもできなかったですね。

山口：それだけ立ち上げは、大変だったということですね。

國峯：私が幸運だったのは、農業を生業にしていたことです。もし学校の出入り業者だったら、利害関係が障害になっていたかもしれません。ある人から「翠巒体育会ができたのは國峯君の力ではなく、商売がよかったからだ」と言われたこともあります。もうひとつは、戦後の学制変更の関係で6年間在籍できたこと。おかげで、先輩後輩ともたくさんの人脈ができたことも大きかったと思います。

最後に、翠巒体育会が素晴らしい組織として、高崎高校の歴史と共に続いていくためにも若返りが大切だということです。私も42歳、高橋会長も42歳で会長職を受け、みなさんのおかげで重責を果たすことができました。だから30代では若過ぎるかもしれませんが、40代になれば年頃で資格があるということです。

高橋：40年前の井上先輩の高高を想う純粋な言葉から翠巒体育会が結成され、歴代会長のおかげで襷を私まで繋いでいただき大変感謝しています。私も、良い形で次の世代に繋ぎたいと思っています。

翠巒体育会が、今後も開かれた組織であり続けることを願っています。OB会のOB資格条件は各部様々であると思いますが、進学校である高高の場合、部活を続けたくても受験等を考え、涙をのんで辞めざるを得なかった方もいます。そこで翠巒体育会では、本会の活動に参加したいという思いを持った方は、各OB会の承諾を得た上で受け入れています。

現在、翠巒体育会は、若い人も数多く参加していただいています。人材豊富な高高なので、地域の新たなリーダーが会員の中から誕生することでしょう。翠巒体育会は、その発掘の場でもありたいと思っています。

これからも、皆様と共に翠巒体育会を見守り続けたいと思います。今後とも宜しくお願いいたします。

本日は本当にありがとうございました。

特別寄稿

翠巒体育会創立40周年を祝って

群馬県教育委員会教育長 吉野 勉 サッカー部(69期)



翠巒体育会の創設に少し関わり、その後、母校の教員として本会の運営にも携わった者として、既に40年が経過したことを感慨深く受け止めるとともに、本会の充実・発展に心からお慶びを申し上げます。

まずは、高校時代の部活動の思い出を少し述べます。私が高高に入学した昭和42年には、サッカーは今ほど人気のあるスポーツではなく、高崎市内の中学校では様々な部からの寄せ集めでサッカー部を編成し、中体連の大会に参加している状況でした。ですから、サッカー初心者である私もそれほど気後れせずに入部できました。

2年生の夏、新チームで臨んだ国体県予選で奇跡的に優勝し、関東ブロック予選でも勝利して本大会に出場という高高サッカー部史上初の全国大会出場を成し遂げました。(この年は、メキシコ五輪で、日本代表が、杉山、釜本選手などの活躍で銅メダルを獲得し、サッカー一熱が高まった年でもあります。)

大学生になっても、後輩の練習に顔を出したり、市民大会や県の大会に出場したりしていましたが、OB会組織がない不便さを痛感していました。そこで、地元の大学に通う友人が中心となり、先輩を訪ね、OB会づくりに奔走し、組織ができました。

これに刺激されたのか、他の運動部にも動きがあり、運動部OB会の連合体を組織する運びとなり、サッカー部OB会会長を初代会長とする『翠巒体育会』が発足したのです。

公立高校では、どの運動部においても、顧問である教職員には異動があり、

時代によって練習環境や内容も異なり、部員数の増減や競技成績にも波があるのは事実ですが、高高という伝統校で、運動部活動に青春の情熱を注いだことは多くの卒業生にとっての共有財産であると言えます。そのまとめ役である翠巒体育会が主催する各種行事を通して、自分の所属していた部以外の先輩や後輩とも貴重な人間関係が構築されます。また、現役部員の試合結果報道に注目し、会報に掲載される各部の活躍記事に喜び、全国大会などで声高らかに翠巒や校歌を歌えることはこの上ない幸せであると思います。

高校時代のサッカー仲間とは現在でも良好な人間関係が続いており、後輩が全国大会に出場する際には、こぞって応援に駆けつけるなど、OB会でも一大勢力となっています。

さて、ここでスポーツの効用について少し触れてみます。いくつもありますが、体力や忍耐力を培い、状況判断力や分析力を磨き、協調性や向上心が身に付き、礼儀作法や模範意識も育成されることなどが挙げられます。また、競技者あるいは指導者として、そのスポーツが将来の職業となる場合もあります。いずれにしても、将来有為な社会人として求められる要素のかなりの部分が備わります。

また、視点を変えると、スポーツは帰属意識の醸成に大きな影響力があると言えます。運動会での我が子への応援、母校や日本代表への期待など、出場選手に対する思い入れには強いものがあり、多くの人が会場やテレビの前で熱い応援を展開するのです。このように我が

子や郷土代表選手を熱烈に応援するのは、他から強制されたものではなく、内面から湧き出る家族愛、愛校心、郷土や国を愛する心によるものなのです。

本県代表チームの甲子園での奮闘、駅伝における本県チームや本県出身選手の快走、インターハイ、国体、ワールドカップなどでの本県選手の活躍には、たとえ選手との面識がなくても、思わず熱い声援を送ってしまうものです。それが母校のチームや選手であればなおさらであり、一緒に競技している感覚でのめり込んでしまうものです。まさに母校愛が最大に発揮される場面です。

ところで、6年後に開催される東京オリンピック・パラリンピックの担当大臣が、72期の下村文部科学大臣であるのも不思議な巡り合わせだと思います。このオリンピックでは、高高の同窓生が日本代表の選手・役員として数多く参加し、好成績をあげてくれることを心から期待しています。

翠巒体育会報でするので、高高とスポーツに関して述べてきましたが、後輩である高高健児には、学業はもちろん、部活動(運動部でも文化部でも)に本気で取り組み、信頼できる友人関係を築き、どんな場面でも高高卒業生として堂々とした言動のとれる社会人となり、同窓会や翠巒体育会の一員として後輩を物心両面から支援してもらいたいと思います。結びに、現役部員たちが好成績をあげることを、そして本会が組織として益々充実することを祈念して祝辞いたします。

「Brand New Start ~ 新たな前進 ~」
優勝目指せ!!
高崎高校サッカー部OB会 会長 清野 哲雄 (74期)



高崎高校運動部長
田中 利明

今年度、笠原恵太先生(現:前橋商業教諭)の後任として運動部長を拝命いたしました、保健体育課:田中利明です。平成23年度より鳥居吉二先生(現:渋川青翠教諭)の後任として着任し4年目となりました。現在に至るまで柔道部の顧問をさせていただいており、生徒とともに精進する毎日です。

翠巒体育会の皆様には、各運動部活動への常なる多大なご支援、ご後援をいただき誠にありがとうございます。各部顧問を代表しまして厚く御礼を申し上げます。

さて、現在の運動部活動の活動状況ではありますが、サッカー部、剣道部、弓道部で新顧問を迎え、各部が競い合い「日本一」を合い言葉に頑張っております。所属者数は565名(1年生198名、2年生198名、3年生169名)であり、運動部

加入率は58.7%という状況です。これは昨年度とほぼ同数であり、過去5年の推移からみても現状維持といった数字です。(平成21~25年:最低55.8%~最高59.6%)

昨年度は高校総体総合第2位、インターハイ出場としてバレーボール部(団体)、陸上競技部(個人)、水泳部(個人)、国民体育大会へはバレーボール部(個人)と陸上競技部(個人)が出場しました。特に陸上競技部では円盤投げの宮入紳豪(現:東京学芸大学)がインターハイ第8位、国民体育大会第6位に入賞しました。また、バレーボール部は県を代表するチームの1つであり、春高予選に3年生ながら出場した武川翼(現:京都大学)、土屋健太郎(現:早稲田大学1年生でありながらレギュラーとして活躍)、現2年生には樋口裕希(高校日本代表)等、高崎高校の「文武両道精神」を体現している部活動の1つです。

そして今年の高校総体は初の総合優勝を目指し学校一丸となって頑張ったわけですが、優勝種目なしの総合5位という結果に終わりました。上位入賞部活動は第2位バレーボール部、ラグビー

部、柔道部(相撲)。第4位バスケットボール部。第5位山岳部。ベスト8に柔道部、ソフトテニス部が入賞しました。その他の部活動も健闘し、あと一步のところまで入賞を逃しましたが、今後の活躍が期待されます。

関東大会には、バレーボール部、ラグビー部、柔道部、陸上競技部、山岳部、ソフトテニス部が出場します。「関東に高崎あり」ということを示しながら、来るインターハイ県予選で群馬県1位、全国1位を目標に高崎高校の伝統を受け継ぎ、更なる飛躍を目指して精進していきたいと思ひます。

《運動部活動の問題点》

- 運動部員数の減少
(少子化とともに運動部所属数の減少と人気競技への偏重がみられる)
- 私立高校の台頭
(部員の総取り、県外への流出や流入)

《高崎高校の強み》

- OBによる支援
(部活動への定期的な参加/活発な同窓団体/指導者としての人材育成)

第49回高校総体
(平成26年)
総合5位

弓道部

団体	1回戦	12射3中
	2回戦	12射3中
	計	24射6中

バレーボール部

	3回戦	2-0 前橋
	準々決	2-0 桐生
	準決勝	2-0 桐商
	決勝	0-2 伊勢崎 準優勝 (関東大会出場)

山岳部

5位入賞(関東大会出場)

バドミントン部

団体	1回戦	2-0 伊商
	2回戦	2-0 育英
	3回戦	0-2 桐生 ベスト16

空手道部

団体形	0-5 沼田
団体組手	1-4 伊勢崎

剣道部

団体	1回戦	5-0 新島
	2回戦	1-3 常磐 ベスト32

軟式野球部

	1回戦	1-2 桐生
--	-----	--------

テニス部

団体	1回戦	3-0 渋工
	2回戦	2-0 高経附
	3回戦	0-2 太田 ベスト16
個人	シングルス	古島 聖、大西 景 ベスト32
	ダブルス	古島・大西組 ベスト16

バスケットボール部

	2回戦	144- 23 関学
	3回戦	95- 47 前橋
	4回戦	119- 81 高東
	準々決	117- 59 常磐
	準決勝	64- 95 桐一
	3位決	82- 94 前商 4位

卓球部

	1回戦	0-3 館林
--	-----	--------

ソフトテニス部

団体	2回戦	3-0 中之条
	3回戦	2-0 樹徳
	4回戦	1-2 健大高 ベスト 8
個人	ダブルス	串田・森田組 3位
		清水・津久井組 ベスト16
		須田・品川組 ベスト16 (上記3組関東大会出場)

サッカー部

	2回戦	0-2 健大高
--	-----	---------

ラグビー部

	準々決	27- 0 高工
	準決勝	19-12 農二
	決勝	3-43 県央 準優勝 (関東大会出場)

柔道部

《柔道競技》

団体	1回戦	4-0 健大高
	2回戦	5-0 前工
	準々決	2-3 常磐
	敗復1回戦	②-2 利商
	5・6位決戦	1-2 樹徳
	7位決戦	2-3 前東 8位
個人	櫻井捷天	ベスト 8

《相撲競技》

団体	決勝リーグ	3勝1敗 準優勝 (関東大会出場)
個人	軽量級	坂本賢哉、原太郎
	重量級	原裕昭、今泉達郎
	無差別	黒崎智史、関谷太志 (上記6名関東大会出場)

陸上競技部

100m	多胡 遼	2位
棒高跳	高橋昇之	4位
やり投	瀧川実哉	3位
4×100mR	竹澤、多胡、高橋、山中	3位 男子総合成績 第9位 (上記種目で関東大会出場)

25 事業報告

- 25年 4月15日
 - 第1回編集会議
- 5月20日
 - 高校OB対抗ゴルフ大会へ援助金
(併せて高高同窓会ゴルフ大会より預り金を渡す)
- 5月30日
 - 関東大会出場の部へ祝金
柔道部・陸上競技部・バレーボール部
ソフトテニス部・山岳部・ラグビー部
- 6月 3日
 - 第1回役員会議
 - 監査役会
- 6月 5日
 - 第2回編集会議

- 6月26日
 - 第39回定期総会・懇親会
 - 翠巒体育第32号発行
 - インターハイ出場の部へ祝金
 - 関東大会出場の部へ祝金
インターハイ/バレーボール部・陸上競技部
関東大会/水泳部
- 8月16日
 - ゴルフ大会役員会議
- 9月 1日
 - 第23回ゴルフ大会
- 9月 6日
 - 高校OB対抗ゴルフ大会(出場者慰労)
- 10月23日
 - 第2回役員会議
- 11月12日
 - 高崎高校マラソン大会 優秀者表彰

- 11月27日
 - 活性化忘年会
- 26年 3月 3日
 - 高崎高校卒業式



● 第33号会報 第2回編集会議(平成26年6月4日)

第39回定期総会・懇親会

山岳部/吉井 章一(78期)

翠巒体育会の第39回定期総会及び懇親会が、平成25年6月26日に高崎ビューホテルにて開催されました。高橋浩生会長の挨拶の後、平成24年度事業報告、会計報告、監査報告及び平成25年度事業案、予算案が滞りなく承認されました。

議事の終了後、報告事項として第21回同窓会ゴルフコンペ(幹事77期)と第112回高中・高高同窓会(幹事83期)の日程紹介及び参加の呼びかけが行われ、国峯善次郎顧問の挨拶で定期総会は閉会となりました。

引き続き行われた懇親会は、高橋会長、羽鳥進一校長、佐藤和徳同窓会会長、富岡賢治高崎市長から挨拶をいただいた後、岩田武雄顧問の乾杯の発声により和やかに始まりました。会の中では、各運動部の顧問の先生より高校

総体等の結果・活動報告と、HP掲載用の写真撮影も行いおおいに盛り上がりました。

最後に応援部OBのリードにより全員で翠巒を合唱し、立見友孝同窓会幹事長による挨拶にて無事終了いたしました。



第4回活性化忘年会

バレーボール部/岩崎 拓也(105期)

翠巒体育会の活性化忘年会が平成25年11月27日、赤坂町の「ホワイトイン高崎」で行われました。今年は64期の富岡賢治市長から106期の若手まで約50人(15運動部)が出席しました。また高崎高校同窓会の幹事期(83期)の先輩も参加してくださいました。

私自身初めてこちらの会に参加させて頂いたこともあり、不安と緊張でいっぱいでした。しかし、会が進むにつれ様々な職種の諸先輩方から貴重なお話を伺うことができ、名刺交換もさせて頂きました。また、同じバレー部の先輩方が、他の部の方をご紹介して下さったのも非常にありがたかったです。

会の終わりには応援部の先輩方の音頭で「翠巒」を合唱し、中締めとなりました。

高橋会長を始め、活性化忘年会幹事

取り壊され行く民家を救い、再生へ取り組みを支援する
NPO日本民家再生協会の一員として

二百年の^{とき}時刻を甦らせる

(株)建築サービス

高崎市南大類町1296
TEL 027-352-0026

代表取締役 藤木 正行 (剣道部69期 高々剣友会会長)



●関東大会出場の部へ祝金贈呈



●インターハイ出場の部へ祝金贈呈



●高崎高校マラソン大会 優秀者表彰



●高崎高校卒業式



●第39回 懇親会



●団体優勝3連覇の硬式野球部OB会

の皆様方、大変お疲れ様でした。非常に有意義な時間を過ごすさせて頂き本当に感謝しております。是非次回も参加させて頂きたいと思っております。また、いずれは自分自身が後輩を紹介できるようになればと思います。



第23回ゴルフ大会 団体戦優勝

硬式野球部 / 大山 竜一(82期)

今大会において硬式野球部は接戦を制し、3連覇を達成する事が出来ました。

去年の優勝に貢献したメンバーが今回は諸事情により複数人欠席という状況の中で苦戦を覚悟しましたが、今回新たに参加して頂いたメンバーが期待以上の活躍をしてくれました。

50歳を目前にした私自身の日常ではもうなかなか「優勝」とか「表彰」というものには縁遠く、今回の優勝には全く貢献出来ませんでした。プレイ終了後、表彰式での団体戦優勝チーム発表のときは、接戦だっただけに思わず拳を突き上げました。軟式野球チームの「翠巒クラブ」での活動と同じく、青春時代の忘れかけた「熱き想い」を思い出させてくれました。

私自身は、去年「高崎高校同窓会の

幹事期」をきっかけに、江原先輩にお願いし初参加させて頂きました。戦力外にもかかわらず快く招き入れていただき本当に感謝しています。

このゴルフ大会において、部対抗で先輩後輩一体となって優勝を目指すことは勿論意義がありますが、もう一つ、他部の諸先輩、後輩とラウンドして新たに人と出逢えることはとても大きな事だと思います。「高高同窓生」という大きなくりの中で他のゴルフコンペとは違う「暖かさ」を感じ、すぐに打ち解けられ心地よく有意義な一日を過ごす事ができ、次回の新たな出会いに期待すら感じます。

ですから未だこのゴルフ大会を知らない同窓生が、何かのきっかけでもっと多数参加して交流の輪がさらに大きく深くなることを願います。

今回の表彰式の時に翠巒体育会会長の高橋先輩が「今後は諸事情で途中退部した同窓生も参加を呼び掛けましょう」と仰っていただき筆を執らせ

山岳部OB(78期)

税理士 吉井 章一

吉井章一税理士事務所

高崎市上中居町251 TEL 027-328-6701

山岳部OB(84期)

代表社員・税理士 真下 哲夫

税理士法人 真下経営

高崎市倉賀野町3557-4 TEL 027-346-1463

良い食事・あふれる自然・子どもに応える室内環境
モンテッソーリ教育 実施園

城之内 保育園

山岳部OB(79期) 吉井昭道

高崎市浜川町249-3 TEL.027-343-1676



●第23回翠巒体育会ゴルフ大会(サンコー 72C.C.)

●ネット個人戦

順位	氏名/運動部名	高崎	岩平	グロス	HCP	ネット
1	清水直樹(応)	48	44	92	22.8	69.2
2	渡辺俊裕(蹴)	35	35	70	+1.2	71.2
3	酒井 隆(水)	44	44	88	16.8	71.2
4	石橋 修(陸)	45	47	92	20.4	71.6
5	脇田智晴(応)	40	39	79	7.2	71.8

●団体戦

順位	運動部名	合計
1	硬式野球	317
2	サッカー	319
3	ラグビー	322
4	応援	335
5	柔道	336

●グロス個人戦

順位	氏名/運動部名	高崎	岩平	グロス
1	渡辺俊裕(蹴)	35	35	70

●グロス個人戦(シニア)

順位	氏名/運動部名	高崎	岩平	グロス
1	庭田登志男(柔)	36	40	76

て頂きました。

最後になりますが、このゴルフ大会開催・運営にご尽力いただきました翠巒体育会の皆様に厚く感謝、御礼申し上げます。

第23回ゴルフ大会 個人優勝

応援部/清水 直樹(89期)

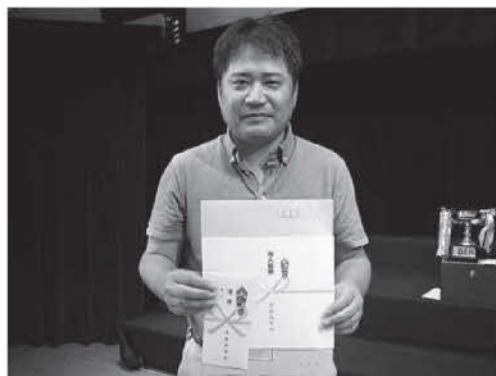
私は89期応援部の清水直樹です。新ペリア方式ハンディキャップのおかげで個人優勝することが出来ました。優勝といっても決してグロスは良くありませんでしたので同伴競技者の諸先輩方にはご迷惑をかけてしまいました。大変申し訳なく思っております。

自分のゴルフを振り返ってみると、途中雷による中断が20分間位ありました。近くに避難小屋が無かったため逃げるようにクラブハウスまで戻り待機しておりました。その後、何とか残

り3ホールを終了するも、ダボ、ボギー、ボギーと最悪のあたりとなってしまいました。しかし新ペリアの恐ろしいところ、結局ネットでアンダーとなり優勝してしまいました。

最近、ドライバーの飛距離は20ヤード落ち、平均スコアも7~8打多く叩くようになりましたが、相変わらず下手なゴルフを楽しんでおります。

今後もこの素晴らしいゴルフ大会に参加させて頂きたいと思っております。翠巒体育会の益々の発展を祈念し御礼の言葉とさせていただきます。優勝というご褒美本当にありがとうございました。



25年度 翠巒体育会会計報告

収支計算書

自平成25年4月1日 至平成26年3月31日

科目	金額	摘要
収入の部		
年会費収入	375,000	@25,000×15部
同窓会補助金	800,000	高崎高校同窓会
広告費収入	225,000	@15,000×15部
親睦会収入	265,000	平成25年6月26日 高崎ビューホテル
ゴルフ大会収入	392,850	平成25年9月1日 サンコー72カントリークラブ
活性化忘年会収入	254,000	平成25年11月27日 ホワイトイン
雑収入	327,500	同窓会ゴルフ補助金、祝金 会議個人負担、寄付金
受取利息	98	群馬銀行
(当期収入合計)	(2,639,448)	
特別会計取崩金	0	特別会計より取り崩
前期繰越収支差額	223,545	
収入の部合計	2,862,993	
支出の部		
総会・親睦会費	389,497	平成25年6月26日 高崎ビューホテル
現役等補助金	336,000	関東大会、インターハイ等 出場の運動部、 マラソン大会、OB対抗ゴルフ
会報発行費	406,287	「翠巒体育」第32号
ゴルフコンペ費	283,268	平成25年9月1日 サンコー72カントリークラブ
活性化忘年会費	371,900	平成25年11月27日 ホワイトイン
慶弔見舞金	10,500	神保家 生花代
事務用品・通信費	35,558	
会議運営費	264,590	編集会議、役員会議等
銀行振込手数料	1,050	群馬銀行
(当期支出合計)	(2,098,650)	
特別会計拠出金	0	特別会計への拠出金
支出の部合計	2,098,650	
(収支差額)	(540,798)	(当期収入合計)-(当期支出合計)
次期繰越収支差額	764,343	収入の部合計-支出の部合計

財産目録 平成26年3月31日現在

科目	金額	摘要
資産の部		
現金	110	現金手許有高
預金	764,233	群馬銀行高崎栄町 (普)0783238 一般会計分
正味財産	764,343	

特別会計 平成26年3月31日現在

科目	金額	摘要
資産の部		
普通預金	601,290	群馬銀行高崎西 (普)0593363 特別会計分
特別会計財産	601,290	



清水胃腸科内科クリニック

内視鏡完備(胃カメラ・大腸カメラ)、生活習慣病、往診応需

院長 清水直樹(応援部OB・89期)

診療時間 9:00~13:00、14:30~18:00

休診日 火曜(午後)・木曜(午後)・土曜(午後)・日・祝祭日

高崎市町屋町627-1 TEL.027-360-4771

有限会社 北原タイヤ商会

各種タイヤ販売・卸・修理・各種ホイール販売

代表取締役 北原幸一 パレーボール部OB(86期)

〒370-0043 高崎市高関町316-6

☎(027)323-5988 FAX(027)323-5858

OB 各運動部OB会の近況報告



陸上競技部
茂原 賢三
(89期)

平成25年度の陸上競技部OB会総会において役員改選が行われました。これまで会長であった木村隆一氏(74期)が勇退され、波多野重雄氏(77期)に引き継がれました。木村前会長は、公私共々忙しい中を、OBを代表して現役員のために県内はもちろん関東大会・全国大会の応援に精力的に出掛けられました。その熱心さにはOB一同頭の下がる思いであります。また波多野新会長は、これまで事務局長として、本会の運営を一手に引き受けてこられました。今後、新たに改選された役員をはじめOB会員皆で、波多野新会長のもと、本会の活動を盛り上げていきたいと思ひます。

平成25年度の全国インターハイで、3年生の宮入紳豪君が円盤投げで8位入賞を果たしました。これまで国体や他の全国レベル大会での入賞は幾つもありましたが、インターハイでの入賞は、永井正樹氏(80期)が110mジュニアハードル以来出ておらず、じつに34年振りの快挙であります。宮入紳豪君本人はもちろん、指導された顧問の先生方に改めて敬意を表したいと思ひます。

この宮入君を指導された顧問の田島正徳先生が、これまでの指導実践および功績が評価されて、群馬県教育委員会より優秀教員表彰の栄誉を受けられました。これまでも高崎高校陸上競技部は、多くの名だたる方々に顧問をして頂いており、指導者に恵まれた環境の中で我々は高校時代を送ることができました。今後も後輩達が、素晴らしい指導者に巡り会えて指導して頂けることを願ひたいと思ひます。

平成25年度の陸上競技部OB会総会および懇親会は7月27日(土)に高崎市内のホテルで開催されました。出席者が年々増え続けていて、今回は30名を超えるOB諸氏の出席がありました。そのうち、100期以降の若手OBが14名出席しました。



25年度陸上競技部OB会総会・懇親会 陸上部役員改選 木村隆一前会長あいさつ

“おじいちゃんと孫”くらいの年齢差があるOB会員が一同に集まって酒を酌み交わして、和やかなそして活気ある会になりました。

本OB会は大先輩も若手も一緒になって気軽に参加でき、楽しく過ごせる会です。今後も多くのOB諸氏に参加していただけますよう、お願い申し上げます。



25年度陸上競技部OB会総会・懇親会 波多野新会長より田島監督へインターハイ激励金贈呈



25年度陸上競技部OB会総会・懇親会 56期の太須賀大先輩による乾杯



25年度陸上競技部OB会総会・懇親会 最近増えてきた若手OBたち



剣道部
小池 政一
(77期)

剣道部では一昨年、OB会(高々剣友会)発足60周年を迎えました。これまでの剣友会は、発足当時の剣道部顧問網中正昭先生の教え子の横田茂先輩(55期)が長年会長を務めてくださいました。その後、笠井秀昭先輩(56期)、藤木正行先輩(69期)が会長を引き継ぎ現在に至っています。事務局長としては、吉野宏一先輩(58期)、林茂先輩(68期)、浅名誠先輩(70期)、藤木正

RISE[®] ライズ総合保険

<http://www.rise-hoken.com>

損害保険・生命保険

代表取締役 **富田 和弘** (応援部 85期)
武山 雄海 (バレー部 102期)

〒370-0044 高崎市岩押町25-18 TEL 027-322-2364 FAX 027-322-5668

行先輩がご尽力くださり、剣友会をもり立ててくださいました。春の山菜採り、暮れの麻雀大会。冬のスキーツアー。いろいろなイベントが行われたのを思い出します。その後事務局長は小池(77期)に移り、今年度、若手の滝野修司君(86期)が引き受けてくれました。

その間、継続して行われてきたのが、夏・春の合宿での現役OB合同稽古会、正月3日の新年稽古会と懇親会です。OBと現役剣道部員が共に汗を流し、交流の場となっていることは、年をとってもできる剣道の恩恵を感じる瞬間ともなっています。

少々寂しいのは昨年度末、顧問であった渡辺正一先生が定年退職されたことです。渡辺先生は、剣道部員に剣道の素晴らしさを教えてくださるとともに、文武両道を説くことで、現役生は勉強でも頑張り、難関大学に進学していきました。

一方、渡辺先生去った後、外部コーチとして、現会長の藤木先輩が就任されましたことは、我々OBにとって元気の出る出来事であり、現役生と剣友会との距離が一段と縮まることとなりました。今後、剣友会が全面的に協力し、高々剣道部をもり立てて行きたいと考えています。



新年稽古会



さる十一月二十三日、冬晴れの日。市内、サンコー72カントリークラブにて、スキー部OB会のゴルフ大会がおこなわれた。

妙義→赤城コースをまわった参加者の数、実に十四人。優勝者は、OB会長の神保裕之先輩だった。さすがOB会長という、貫録を見せつけるプレイであったろう……。

であったろう……というのは、わたしこと寺澤は、このゴルフ大会に参加していないのである。今、憶測でものを書いてしまった。

さて、わたしのようなゴルフ大会に出なかった者をまじえ、十八時から恒例の割烹多喜でOB総会がおこなわれた。参加人数、二十一人であった。第一回OB総会に参加していなかった先輩も出ていたりして、旧交をあたためることができ、大変、有意義な会であった。

どうも女子高には、こうした会はなかなかないらしい。男子校ならではである。

ただ、少し寂しいのは、わたしの世代より下の世代のOB会、参加率が少ないことだろうか。スキー部OB会の認知を益々深めることが、今後の課題と言えそうである。



3月の春の選抜を皮切りに、4月に入り、いよいよ、野球シーズン到来となりました。

野球部のOBのみで構成されている翠巒クラブの活動も、3月の後半から、熟年クラスの西毛地区のリーグ戦から始まり、壮年クラスは、4月から、実軟の高崎予選と、毎週、熱く、楽しく、試合を行っています。

熟年クラスは、リーグ戦は、今のところ全勝。壮年クラスは、苦しみながらも、5年連続で、県大会出場を決めました。県大会のほうは、去年、壮年、熟年共々、初戦で敗れているので、今年は是非とも、初戦を突破し、優勝目指し、頑張りたいと思っています。

その他の活動で、去年から始まりました、群馬県の高校野球OB連合によるOB大会が、今年も実施されました。今年は、去年より登録校が3校増え、計16チームによるトーナメントで、我が高崎高校OBは、吉井高校OBとの対戦となりました。この試合で注目したいのは、春の選抜出場時のエースの島田君(112期)



高崎白衣大観音
高野山別格本山 **慈眼院**
住職 橋爪 良真
(バスケットボール部 75期)
高崎市石原町2710-1 TEL.027-322-2269
<http://www.takasakikannon.or.jp/>

(有)滝沢労務管理事務所
代表取締役 滝沢 敦
所 長 田中 正宏
社会保険労務士
(バスケットボール部 79期)
〒370-0861 高崎市八千代町1-19-8
TEL.027-323-2614 FAX.027-323-2610

地酒とワインの専門店 (有)仲沢酒店
代表 仲澤 賢一 (バスケットボール部 86期)
高崎市八千代町1-12-4
TEL.027-323-1621 FAX.027-326-2141
<http://www.nakasake.com>



が参加してくれたことですね。結果は、残念ながら、4-2で敗れてしまいましたが、幅広い世代が集まり、楽しく野球ができました。現役の応援はもちろんですが、我々OBらも、野球をしながら、楽しんでいます。



水泳部OB会の新年会、今年は4日に高崎駅前の居酒屋にておこなわれました。70期の永尾さん、74期の佐藤さんを先頭に18

人が参加しました。

スイミングクラブに主導権を奪われ現役とのつながりも、OB会の活動も長らく苦戦を強いられて来た水泳部ですが、近年ようやく新しい参加者が増えはじめ、今年も4人の初参加者を迎えました。

そのうちの2人が75期の小野関君と関君。毎年参加の斎藤君と伊藤と合わせて卒業以来初めて同期全員がそろいました。38年ぶりであります。

近況報告もあつという間に1時間が過ぎ、昔話の大爆笑の連続。シメもそこそこに二次会になだれ込んで行きました。

これに先立つこと5ヶ月前、前年度からはじめた新機軸、OBと現役生の焼肉大会第2回目が駅前の朝鮮飯店を舞台に挙行されました。

夏の県大会頑張り切った現役を慰労しようという趣旨ですが、OB7人が10数人の現役生のと顧問の先生を迎えて焼肉大会はスタート。ハツラツとした態度の現役生の凄まじい食べっぷりに、OBも久々に青春の日々を思い出したひと時でした。第3回目も必ずやるので、現役諸君は競技でも奮起を!

ただ一つ、第一回目から持ち上がっている「モンゴルにスイミングクラブを設立する計画」が進展しないのが懸念されます。(笑)



卓球部OB会は、例年夏冬2回現役生との交流試合を行っていましたが、昨年から68期の根岸先輩が定期的に現役生を指導する

ことになり、現役生の技術力アップに繋がっているようです。私は教えるほどの技術力がないので、他のところでサポートしていければと思っています。

OBだけの活動としては、2年ほど前から「すいらんクラブ」として卓球大会に参加する機会があります。昨年の12月には小さな大会ではありますが3名の団体戦で優勝することができました。この大会は年齢別の大会でもなく遠く新潟県からの参加もあるので、何れも接戦続きでしたが、優勝チームは上毛新聞で紹介されるため何とか「すいらんクラブ」の名前を記事に載せたいと思い頑張りました。因みに3名の合計年齢は186歳で最年長でした。

卓球をしないOBの方が多いので秋のゴルフコンペと新年

平成26年1月7日(火)上毛新聞社

男子Aクラス優勝のすいらんクラブ

▽Cクラス ①高崎ピンボンス
・小相木町(横尾嘉一、寺島康夫、
▽Bクラス ①華心会A(田中優太、鈴木孝典、堀口裕紀) ②新湯すもんくらぶB(樫直樹、樫智美、小野塚泰徳、渡辺理恵) ③出水クラブA(岩崎峻、佐々木翔一、桜井裕樹)

女子Aクラス優勝の卓愛会A

▽Gクラス ①出水クラブB(富永大輔、狩野和孝、三川真樹)

卓球

◆第1回エスベランサ団体卓球大会(高崎勤労青少年ホーム)

【男子】▽Aクラス ①すいらんクラブ(針谷正紀、佐々木修一、堤康高) ②崎玉Tとよぎと(浅野裕、西倉民雄、野口憲一) ③ITK(久保孝仁、井川隆、武田寛久)

▽Bクラス ①華心会A(田中優太、鈴木孝典、堀口裕紀) ②新湯すもんくらぶB(樫直樹、樫智美、小野塚泰徳、渡辺理恵) ③出水クラブA(岩崎峻、佐々木翔一、桜井裕樹)

▽Cクラス ①高崎ピンボンス(寺島和美) ②中央卓球クラブA(石川洋幸、石田元一、藤岡一宏、高山誠) ③永明クラブA(石田正太郎、小柴勇、茂木農夫)

▽Dクラス ①華心会C(佐久間正利、早水直人、板倉慶太) ②藤岡クラブ(立石宗男、伊藤文男、本田俊雄) ③Ts Win(高見沢隆、古田誠、井上純市)

▽Eクラス ①高崎ピンボンス・卓龍会・秀卓会(久保田洋司、金井正巳、関根寛代司) ②永明クラブB(小宮正巳、藤井邦啓、生形政己) ③卓親会A(木村順年、田中猛、萩原辰治)

▽Fクラス ①スーパードラッキー(坂本博正、柴崎章治、高井和義、高桑司洗) ②中央卓球クラブB(和田賢司、細谷洋、池田士郎) ③サンライフ(金井昭雄、狩野久夫、坂本守)

TGmark
オリジナルTシャツ作成します!

坂本 弘 バレーボール部OB(87期)
株式会社東国サービス マーキング事業部
〒370-0072 高崎市大八木町2119-19
TEL.027-387-0923 FAX.027-387-0924

株式会社 **システムハウス**

群馬県高崎市栄町15-9 きむらビルⅡ 4-B
TEL.027-327-8451 FAX.027-327-8480
URL <http://www.sysh.jp/>

代表取締役 **堤 康高** (卓球部・71期)

会は恒例となっています。新年会への参加は例年同じメンバーで、平均年齢が毎年上がっていましたが、今年は大学生や中堅の新メンバーの参加もあり活性化の兆しがあったので、この流れが続いていくようにしていこうと思います。



応援部

櫻井 健一
(87期)

私たち高崎高校応援部OB会は、富田新OB会長に引き継がれ1年を経過しました。

OB会役員という大役を、秋山前OB会長や鈴木事務局長に支援頂きながら、1年を経過する事が出来、諸先輩方や顧問の先生、後輩たちに感謝致します。今後、高崎高校応援部OB会と現役応援部が益々繁栄していくよう微力ながら精進するつもりです。

さて、応援部OB会では、桐生高校応援団OB会、および太田高校応援団OB会の役員の方と、現役応援部員を含めた交流をさせて頂いております。

桐生高校応援団OB会、太田高校応援団OB会の方との交流の中で、現在直面する高崎高校応援部の部員数減少について話し合う機会が多々あり、両校ともその危機を乗り越え今に至っているとの話を伺い、富田OB会長を中心として、現役応援部の活性化に今まで以上に力を注ぎ始めました。

現役応援部員との交流をする中で、部長をはじめとする応援部員も高崎高校応援部を活性化させる為に様々な努力をしている様子が伺えました。現役部員が応援部を盛り上げて行く為に起こる問題や悩みにOB会としてできる限りの支援をし、具体化していきたいと検討しております。

また、今年度より応援部OB会は、桐生高校応援団OB会、太田高校応援団OB会に加え、前橋高校応援団OBの方とも交流をさせて頂き事になりました。今後、伝統のライバル校である前橋高校応援団OBとの交流も深め、高校応援部の発展につながればと希望を抱いております。

私たちOBも、現役応援部員が帰属意識を高め、やりがいのある応援部となって、「伝統が更に栄えるよう」現役を支援していきたいと考えております。 押忍



応援部OB会 新年総会・懇親会



平成26年1月25日 同窓会懇親会にて



柔道部

志田 登
(82期)

柔道部OB会の活動としては、今年も1月3日に高崎高校柔道場において新年初稽古を行い、その後、市内のホテルに会場を移

し、新年総会を行いました。新年総会では、例年どおり、1、2年生の現役選手がその年の抱負を述べる時間を設け、その後に各OBから近況報告をいただきました。また、会長交代についての協議が行われ、新会長の選出については、関口茂樹会長(63期)を中心としたOB会活動の主要なメンバーで、日を改めて実施することとなりました。

新年総会の決定を受け、3月17日に新会長についての協議を行い、新会長には鳥居吉二さん(73期)を選出いたしました。鳥居新会長は、平成24年度まで高崎高校柔道部の顧問として後輩の育成を担当され、また、翠巒体育会の活動においても多大なお力添えをいただいております。現在も指導者として、そして群馬県柔道連盟の理事長としてご活躍されています。

前会長の関口さんには、ご多忙の中、長く会長として柔道部OB会の発展のためにご尽力をいただきました。ありがとうございました。今後も柔道部OB会や後輩に対してご指導をいただきたいと思っております。

なお、柔道部OB会の事務局につきましては、東瀬朝紀さん(69期)から志田が引き継ぎました。鳥居新会長と共に他のOB会に劣ることない活動をしてまいりたいと考えております。



がんばれ 高崎高校柔道部

目指せ日本一

柔道部OB会 会長 鳥居 吉二 (73期)
事務局 志田 登 (82期)



ソフトテニス部

田口 恵一
(74期)

平成25年度、恒例のOB会は8月10日(土曜日)に開催しました。現役とOBとの親善テニス大会を高高テニスコートにて12時より行いました。高高を卒業したばかりの111期生4名・112期生4名参加し、現役と熱戦を繰り広げていました。しかし、昼の部は年年熟年OBの参加が少なくなり、57期飯塚先輩が来ていただいても試合に参加することは出来ませんでした。来年はOBシニア大会を開催して、数多くのOBの参加を募ろうと思います。

今年は、夜の部も現役生徒との交流を深めようと、50歳以上のOBは会費を高めにし現役生徒に夕食をごちそうしました。通町の萬嵐で現役生徒にたらふく中華料理を食べてもらい、それぞれテニスと将来の抱負を語ってもらいました。

現役生徒にエールを送った後、OB同士で酒を交わしながら親交を深めました。



平成25年8月10日 高高テニスコート



平成25年8月10日 萬嵐



ラグビー部

芳賀 弘幸
(81期)

我々ラグビー部OB会では、現役ラグビー部を支援するため、様々な活動をしています。

OB会の活動として最も歴史が深いのは、毎年1月に行われるOB戦です。もう、30年以上前、私が、現役のころから、現役激励の目的で、絶えることなく続いています。今年も、卒業したての若手OBから、60歳近くのOBまで

試合に参加し、現役ラグビー部員にラグビーの厳しさ、楽しさを体を通して伝えました。

次に、OB会の大きな活動として、「高々ラグビー祭」があります。これは、現ラグビー部OB会長の内田さんが、7年前から始められたOB会行事です。今年は3月30日に行いました。高々ラグビー部OB会の行事ではありますが、高々ラグビー部関係者に関わらず、ラグビー好きが集まり、様々な年代でラグビーを楽しむ、まさに「祭」です。それぞれの年代のOBがラグビーを楽しむよう、年代別で、試合をし、その後、BBQ大会、ビンゴ大会、オークションを行います。オークションには、真下先輩(日本ラグビー協会副会長)はじめ諸先輩方や関係各位から多大な景品の寄付をいただき、例年のことながら大変盛り上がりします。この行事の中で、卒業生をOBに紹介する企画があります。若者の熱い思いを聞かせていただき、自分も高校生時代の熱い思いを懐かしく思い出すひとときでもあります。卒業生には、高々ラグビー部で3年間過ごしたことに誇りと自信を持ってほしいと思います。

その他にも、若手OBが声を掛け合って、現役に指導したり、年に何回かはOB会として現役の指導に当たったりしています。そのかいあり、昨年に続き、今年も関東大会出場が決まりました。冬の花園全国大会出場に向け、OB会はよりいっそうの援助を行っていきたくと思っています。



平成26年3月30日 高々ラグビー祭



テニス部

北村 真行
(85期)

翠巒体育会40周年記念おめでとうございます。翠巒体育会の昨年度事業としてPDF化された翠巒体育会報を改めて遡らせて頂く

と、テニス部OB会の翠巒体育会への加入は平成12年よりとなっています。加入の際には斎藤先輩(83期)、浜名先輩(84期)、松本先輩(84期)をはじめとする諸先輩方の手によるOB会の立ち上げもさることながら、学校側顧問の塚越先生(当時・現沼田高校校長・73期)にも大変お世話になりました。同好会発足から36年、正式な部への昇格から33年という、翠巒体育会の歴史より若年の部ではありますが今後ともよろしく願いいた

目指せ!
極限の自己を!!

高崎高校 陸上競技部OB会 会長 波多野重雄(77期)

陸上競技部OB会ホームページ

<http://sports.geocities.jp/takatakarikujouob/index.html>

します。

上記にある諸先輩方に支えられながら、テニス部OB会は年1回夏のOBテニス大会及び総会・懇親会、在郷OBによるテニスチーム(T.T.OB)で参加する市民大会等で交流を深めています。つい先日、5月6日の高崎市クラブ親善テニス大会においては第6部で参戦しました。各人とも日頃の練習不足がたたってか後一步の足が出ず(笑)、思うような戦績が残せませんでした、春空の下での楽しいひと時となりました。

また昨年の総会・懇親会においては、かねてからOB会の課題として86期以下の若手への周知活動をより高めて行こうと考えていた矢先に、OBテニス大会に91期、109期、110期の後輩が顔を出してくれました。後の懇親会では、炎天下のOBテニス大会でいまだ衰えぬプレーを披露いただいた同好会時代79期の先輩方にも初参加いただき、創立にまつわる貴重なお話を伺うことができました。うれしい限りです。テニスは無理さえしなければ生涯スポーツとなり得ます。テニスを通じてOB会活動をさらに盛り上げて行きたいと思っています。

最後になりますが、高崎高校テニス部現役生諸君のさらなる躍動を祈願いたします。



平成25年8月10日(土) OBテニス大会 高崎高校テニスコートにて

れた顧問の渡部健一郎先生、父母会有志が集い、母校近隣にある「小紋」にて懇親会を開催しました。

文武両道の精神を持って活動する現役生であるからこそ、このような講演会から多角的な知見を得て社会へと踏み出していきたい所存です。今後とも現役生への変わらぬご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



平成26年4月19日 翠巒会館での講演会



平成26年4月19日 小紋での懇親会



日頃よりOB諸兄をはじめ、関係各位には大変お世話になっております。バスケットボール部は、現役支援として社会で活躍するOB

を講師として招聘する講演会を4月19日に翠巒会館にて開催しました。

今年で5回目となる講演会は「わが青春の一考察」と題して友松敬三氏(61期、元高崎市議会議員)と、また「わが青春に悔いなし」と題して鈴木武文氏(51期、前群馬県バスケットボール協会会長)の2名より講話をいただき、現役生や父母会、OB会員など約70名が参加しました。

講演会の後には、鈴木先生の平成25年度群馬県スポーツ協会特別功労賞を受賞及び友松氏の平成25年度秋の叙勲にて旭日小綬賞を受章の祝賀会を兼ねて、OBと4月より着任さ



恒例となっておりますバレーボール部OB会の新年会が、平成26年1月3日に開催されました。この度の新年会では、50期代の先輩のサプライズ参加があったり、大勢の90期代の方

に出席して頂いたり、有意義な時間を例年とは違った形で過ごす事ができました。毎年来て頂いている方々のみならず、何十年ぶりに参加して頂いた方とも近状報告や現役時代の話などで、年代を越えて大いに盛り上がりました。今後も、高高バレー部OB会を一層活性化させ、現役生やOB会活動の情報発信などを行い、より多くのOBの方が気軽に参加して頂ける会を目指していきたいと思っております。

高高バレー部OBを中心として活動を行っている翠巒クラブですが、昨年度はクラブカップ群馬県予選・関東大会、国体群馬県予選、天皇杯群馬県予選に参加しました。県内大会では、全ての大会で準優勝となり、県代表の切符を得る事はできませ



んでした。しかしながら、関東クラブカップでは人数の少ない状態での参加でありましたが、関東ベスト4に入る事ができました。リベロもない中、試合中に怪我人がでたりとハプニングもありましたが、それぞれが自分の役割に徹すれば勝てると強い気持ちを持ち、試合に臨みました。改めてチームが一丸となり目標を達成する喜びを感じる事ができた試合となりました。

翠巒クラブのメンバーは、就職・転勤など生活環境の変化によって参加人数が集まりにくい状況となっておりますが、最近では大学の体育会バレー部に加入しているOBも増えてきましたので、将来を見据えて学生に協力を仰ぎながら活性化を図っていきたく思っております。また、バレー部の顧問である柴山俊広先生(103期)と協力しあい、微力ではありますが、練習試合等を中心に現役生を支援していきたく思っておりますので、今後ともご協力を宜しくお願い致します。



新年交流戦



新年懇親会

サッカー部
根岸 強
(87期)

今年は、1月2日に行われた恒例の初蹴会にて、現在横浜Fマリノスで活躍中の中町公祐君が、元旦の天皇杯で大活躍しマリノスを優勝に導いた翌日にもかかわらず参加してくれました。現役のJリーガーと直接交流を持てることは、高校生諸君にとって大変貴重な時間になったと思います。もちろん我々OBにとっても中町君と交流を持てることは素晴らしいことであり、参加者の大

勢が写真を一緒に撮るなどして和気あいあい、楽しい時を過ごすことが出来ました。

その他OBの主な活動は、2月に行われる総会・懇親会、8月第二土曜日に行われる前橋高校との定期戦となっております。今年の総会・懇親会は大雪のため中止となりました。

OBチームの昨年度の成績は、群馬県社会人3部リーグに参加しているOB主体の翠巒クラブ、群馬県社会人シニア40リーグ1部に参加している前橋高校OBとの合同チーム翠龍クラブともに戦績は振るわず、翠巒クラブは2部昇格ならず、翠龍クラブは2部降格となりましたが、今年度は、新しいメンバーも加わり怪我なく、楽しく、勝サッカーで上位進出をめざしたいと思っております。



横浜Fマリノス所属 中町君の新年挨拶風景

山岳部
須川 光一
(79期)

お世話になります。今年度の主な活動内容を報告させていただきます。夏合宿前に、現役部員へ差し入れをしてきました。高校総体で、数が少ないと指摘された、ツェルト(簡易テント。テントを持っていかない山行での非常用具)と機能食品・飲料を贈りました。現役とOB会の交流の場として、毎年行なっています。



平成25年7月26日 夏合宿前の差し入れ

昨年11月28日に、新人歓迎登山時に亡くなった吉原先輩(59期)の遭難レリーフを発見する事ができました。私の現役時代には、慰霊登山をしていましたが、その後30年以上途絶えていたため、地形の変化、登山道の廃道によって、レリーフの場所が解らなくなっていました。レリーフ発見の報告会を兼ねて、1月に、拡大役員会を開催しました。一昨年末から十数回行なっ



芸大・美大・美術系高校受験予備校
高崎美術学院
社会人のための美術教室
アートフォーラム高崎

〒370-0044 高崎市岩押町 35-12
☎027-322-6548
<http://www.art-takabi.com>

〒370-0044 高崎市岩押町 31-11
☎027-326-5585
<http://www.art-takabi.com/artforum>

代表 北村 真行
(テニス部 85期)



平成26年1月19日 拡大役員会



平成26年4月20日 妙義山慰霊登山

た探索の苦勞をねぎらいました。

平成26年4月20日に、妙義山慰霊登山を実施しました。吉田先輩(57期)を筆頭に、OB21名、現役6名、顧問1名が参加しました。花と線香を供えてきました。

山岳部OB会では、毎年、山行を計画しています。案内は、メール

とホームページ(高崎高校山岳部OB会で検索)で行なっています。メール登録していない山岳部OB会員の方は、ホームページよりご連絡ください。



伝統の高前定期戦 対面式

左写真:昭和46年第25回定期戦
右写真:平成25年第67回定期戦



《高崎高校運動部の活動報告》

先輩がんばってます。



ラグビー部

片桐 貴大

私たちラグビー部は、「花園出場」を目標に掲げ、顧問の森田先生、副顧問の萩原先生、下田先生の指導のもと、3年生5名、2年生11名、1年生13名の計29名で日々活動

しております。

県内の強豪私立校と比べ練習時間も短く、体が小さいなどの厳しい状況の中、部員全員が高い意識と集中力を持ち、常に考えて練習することを心がけ、日々努力しています。その結果、最近では県大会決勝、関東大会などに数多く出場できるようになり、県内上位の常連校として定着できるようになってきました。

今年も高崎高校ラグビー部が更に飛躍できるよう、部員一丸となって結果を残していきたいと思っています。

これからも諸先輩方から受け継いだ伝統と誇りを胸に、精進していきますので、応援のほどよろしくお願い致します。



バドミントン部

天田 圭太

私達バドミントン部は、顧問の星野先生、市川先生の下、3年生1名、2年生16名、1年生14名の計31名で、団体戦で県ベスト4を目指し、日々練習に励んでいます。

初心者の多い我々が他校の経験者に勝つためには、限られたスペースと時間の中で、効率の良い練習を実践し、試合のような緊張感を部員全員で作りに上げていくことが必要となります。そのため一人一人が、部の雰囲気や練習への意識を高め、お互いに切磋琢磨していくことを部の目標として掲げています。

3年生が1名しかいないため、2年生が中心となって練習を行ってきました。そのおかげで早くから2年生は、部員としての責任感を持つことができたと感じています。これからも先輩方が築き上げてきた伝統を受け継ぎながら、更に実績を作り上げていけるよう、全力を尽くしていきますので応援よろしくお願い致します。



地域とともに70年!!
医療法人 真木会

真木病院 PETセンター

真木 俊次 (剣道部 55期)
真木 武志 (バスケット部 72期)
永尾 俊弘 (水泳部 70期)

まだ当センターでPET検査を受けたことの無いかたのために
料金半額キャンペーンを実施しております。(平成26年3月迄)

お問い合わせ/資料請求

〒370-0075 高崎市筑縄町71-1
フリーダイヤル 0120-744390
ホームページ <http://www.makikai.jp/>



バスケットボール部 込山 直毅

私たちバスケットボール部は、3年生9名、2年生14名、1年生20名で、顧問の渡部先生の御指導の下、強豪私立・実業高校よりも少ない練習時間の中で、部員全員が高い意識を持ち、目標を明確にしながら日々練習しています。また、1年を通して体造りのためのトレーニングコーチを招き体幹トレーニングに力を入れ、励んでいます。

3年生は、この高崎高校バスケットボール部としてバスケットボールができる時間がもう長くありません。新人戦であと一步のところで関東大会への出場を逃した悔しさをばねにし、「チームで闘う」ということをあらためて意識し、残り2ヶ月、最後の集大成としていきたいです。このチームを支えて下さる全ての方々への感謝の気持ちを忘れず精進していきますので、これからもご支援のほどよろしくお願いします。



卓球部 南 史弥

私たち卓球部は、3年生9人、2年生6人、1年生7人の計22人で活動しています。

昨年まで毎日やる事が無かった「多球練習」を毎日取り入れるようになり、目標であるシングルベスト32以上、団体ベスト8以上に近づきつつあります。ですが変わったのはそれだけでなく、外部コーチが就いたり、顧問の中島先生、長谷川先生、江原先生が積極的に練習試合を組んでくれ、更なるレベルアップをはかる事ができました。しかし、強豪校との差は大きいままであり、今後さらにレベルアップできるように今まで以上に練習していくつもりです。

最後に3年生は今年の高校総体をもって引退しますが、今まで積み重ねてきた練習の成果をいかに発揮し、上記の成績になれるよう頑張りますので応援よろしくをお願いします。



軟式野球部 生方 大

私達軟式野球部は3年生11人、2年生14人、1年生8人の計33人で、関東大会出場を目標に日々活動しています。春の高校総体では、打撃が思うようにいかず、1点差で敗れてしまい、1回戦敗退というとても悔しい結果に終わりました。しかし、例年3年生は夏を向かえることなく引退していましたが、今年は8人の3年生が続けることになりました。残る人たちは初めてのことで不安なこともあります。今回の悔しさを胸に夏に向けてがんばりたいと思います。また、2年生や1年生には、腹をくくって挑戦している3年生の背中を見て、練習に励み、この3年生の試みを新しい伝統として引き継いでいってほしいです。

最後に、このチームで野球ができるのも残りわずかなので、野球ができることに感謝して努力していくので、軟式野球の応援をよろしくお願いします。



山岳部 清水 崇史

私達山岳部は顧問の井上先生、滝沢先生、紋谷先生、一倉先生のご指導の下、高校総体優勝を目標に活動しています。山岳部の総体は、3日間山に泊まり、登山の技術、知識、体力が審査されます。ここ数年、惜しくも優勝を逃しているため、今年度は特に力を入れて練習に励みました。

私達は、3年生19人、2年生7人、1年生3人で活動しているため、3年生引退後の不安が残ります。そのため、普段の体力づくりや、月に一度の月例山行に加え、部員の勧誘もしなくてはなりません。また、年々部活に来ない生徒、いわゆる幽霊部員や、実行委員などと兼部をする生徒が増え、山岳部としての活動が疎かになりがちです。山岳部の伝統を絶やさぬよう、今後はより充実した活動を行い、やる気のある部員の獲得に力を入れたいと思います。応援よろしくをお願いします。



バレーボール部 樋口 裕希

我々バレーボール部は、顧問の柴山先生、加邊先生、江原先生のご指導の下、部員25名で日々練習に取り組んでいます。

私たちは昨年、インターハイに出場しました。しかし、目標であった「全国一勝」を果たすことができず、悔しい思いをしました。全国の舞台で自分たちの力を十分に発揮することの難しさ、全国大会の雰囲気を感じ、もう一度全国へ行って悲願の一勝を成し遂げる、これを目標に練習しています。ただ、今のままでは勝てません。もう一度メンバー全員で意志を統一し、このメンバーでバレーボールができる残り少ない日々を「勝つ」ために過ごしていきます。

指導をしていただいている顧問の先生方をはじめ、毎日支えてくれる家族、OBの方々、これまで一緒に切磋琢磨してきた仲間への感謝し、大好きなバレーボールを「心をひとつに」頑張ります。



陸上競技部 真下 稜平

私たち陸上競技部は顧問の田島先生、津久井先生のご指導の下、3年生15人、2年生12人、1年生16人で日々練習に励んでいます。

他の強豪校よりも練習時間を取れない中、部員一人一人が高い意識を持ち、常に練習効率を考え、最大限の効果を得られるよう取り組むことで、これまで先輩方が素晴らしい実績を残してきました。そして今年も戦えるチームになり、これまでの高崎高校陸上競技部の歴史や名を背負って、選手は全力で勝負しにいて、選手以外は全力でサポートすることで部員全員の気持ちを一つにして、総体は戦いたいと思います。

この43人で共に陸上競技をする時間は限られています。一日一日を大切に、顧問の先生やOBの方々、保護者の方々への感謝の気持ちを忘れずに、最後の最後まで諦めずに戦い抜きますので応援のほどよろしくお願いします。

エネルギー開発(小水力・太陽光発電、蓄電池)で地域のみならずにも貢献します。

代表取締役 **石井 洋志**
バレーボール部OB(96期)

eneco 株式会社
群馬県高崎市棟高町670-4 TEL/FAX:027-333-1772
<https://www.facebook.com/eneco.co.jp>

御宴会、慶弔のお席、同窓会、PTA、趣味のお集まり等に…。

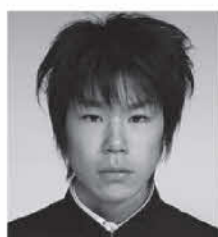
割烹 魚 伴

取締役社長 **羽鳥修司** (卓球部・63期)

高崎市九蔵町17 TEL 027-322-2428(代) FAX 027-326-7070



平成26年5月9日(金)第49回群馬県高等学校総合体育大会 総合開会式
7年連続で「入場行進優秀校」を受賞した硬式野球部員による入場行進。昭和
61年度第21回大会から実施された「入場行進優秀校」審査。今年度は参加校
82校のうち15校が受賞。



水泳部

宮崎 勝正

現在水泳部には3年生3人、2年生6人、1年生4人の計13人が所属しています。部員全員が高い意識を持っているため、昨年の秋から、スイミングスクールに通っていない部員も市民プールを利用して実戦的に泳ぎ込み、互いに技術を高めあってきました。水泳のシーズンとなった今、これまでの鍛錬の成果を大会で発揮するために、いっそう力を入れて日々の練習に励むつもりです。

昨年度は関東大会に個人とリレー共に出場し、個人では全国大会、国体にも出場することができました。今年は昨年の結果に続けるよう、さらなる技術の向上を目指し、団体での関東大会出場を第一目標に掲げ、目標を達成するために部員全員が日々の努力を惜しまず、決して諦めずに活動していきます。これからも応援よろしくをお願いします。



空手道部

下田 晃大

私達空手道部は、現在2年生4名、1年生2名の計6名で、チームまたはそれぞれの目標に向かって日々の練習に励んでいます。

昨年の高校総体では先輩が勇敢に戦っている姿を客席から観戦して応援することしかできませんでした。今年こそは活躍して新チームなりの納得のいく結果を出したいと思います。今年は個人競技だけでなく団体競技にも出場することができるので、そのチャンスを逃さずに結果を残そうと思います。

また、私達は定期的に他校の練習に参加させてもらい、多くのことを学んでいます。いつも快く練習の場を提供して下さる先生や的確なアドバイスをして下さる先輩に多いに感謝しています。先生方や先輩、OBの方々の期待に応えられるよう、そして今後の空手道部の活躍のために精一杯の努力をしようと思いますので、これからも応援よろしくをお願いします。



硬式野球部

吉沢 滉輝

私達硬式野球部は、境原先生、関根先生、島田先生、井上貴志先生のご指導の下、日々の練習に取り組んでいます。

私達のチームは「高高らしい野球」を目指しています。そのため、野球はもちろん、勉強や学校生活にも意識を高めて取り組んでいます。それは忍耐力や継続する力などを身に付けるためです。私達は野球に割ける時間が少ないため、野球以外のところから野球に結び付け、「心」を鍛えています。大会を勝ち抜くためには技術も大事ですが気持ちが一番大切だと思います。夏に向けてより一層強い心を作るため、部活に勉強に励んでいます。

私達は秋季大会、春季大会と納得行く結果を残すことができず悔しい思いをしました。夏の大会ではこの悔しさを晴らし、初の夏の甲子園出場を目指し全力でプレーします。応援宜しくお願いします。



サッカー部

大里 肇

私達サッカー部は、新顧問の吉田先生、副顧問の新井先生、飯出先生の御指導の下、3年生23名、2年生27名、1年生31名の計81名で、個々の能力やチームワークを高め、県制覇、関東大会、全国大会の出場、県1部リーグへの昇格を目標とし、日々練習に励んでいます。また、強豪校はサッカーだけでなく、挨拶や礼儀、身嗜みなどのことが当たり前に出てきます。サッカーの技術の向上だけでなく、他校から尊敬されるチーム作りをしていきます。

昨年の全国高校サッカー選手権の県予選ではベスト8、今年の新人戦ではベスト16と、不甲斐ない結果に終わっているので、今年の群馬県総体、インターハイ予選、全国高校サッカー選手権の県予選の全てで、優勝を目指して頑張っていきます。

サッカーなどの全ての面で、全国トップクラスを目指し努力していくので、応援よろしくをお願いします。



柔道部

原 太郎

3年生4人、2年生5人、そして新たに1年生を2人迎え入れた私達高崎高校柔道部は、顧問の田中先生、副顧問の小久保先生の下、関東、全国出場を目指して日々稽古に励んでいます。

今年度から新ルールが適用され、体の大きくない私達にとっては厳しい試合が予想されます。しかし、高崎高校柔道部が他校の柔道部と大きく異なる点で、考える力をそのまま柔道に活かせるという長所があります。また、どんなに大きな壁も乗り越える精神力も持ち得ています。なので、これらの能力を最大限に発揮できれば、関東、全国も夢ではないと考えています。

私が今まで高高の道場で練習してきて強く感じたのがOBの方々と繋がりです。OBの方々が作りあげてきた伝統を受け継ぎ、これからも頑張っていくので応援よろしくをお願いします。

硬式野球部OB(91期)

税理士 清水 元

清水元税理士事務所

高崎市上小鳥町197-2 〒370-0078

TEL:027-386-4349 FAX:027-386-4350

創業明治11年
総合建設業・一級建築士事務所
製材・プレカット・アスウッド

ISO-9001
認証取得

株式会社 研屋

専務取締役 清水 正郎(硬式野球部・75期)

本社/高崎市飯塚町805 TEL 027-361-5095

硬式野球部OB ハワイウォーター

小林 均(77期)

有限会社 小金

〒370-0865 群馬県高崎市寺尾町1614

TEL 027-325-4411(代) FAX027-325-4445

**スキー・スケート部** 勝家 陽介

スキー・スケート部は現在3年生の私一人で活動しています。部としての目標、もとより私個人の目標は今年群馬で開催される冬期国体でベスト16に入ることです。

今年も部員が私一人ということで、スキー種目については専門外なので、アイスホッケーについての説明をさせていただきます。国内の競技人口を見ると野球、サッカーに遠く及ばないため、マイナーなスポーツと思われがちなアイスホッケーですが、実はアメリカで四大人気スポーツに挙げられるほど、国際的にはメジャーなのです。

私は高崎高校ではほとんど活動していません。合同練習は主に群馬県選抜として国体へ向けて練習しています。今年は前述のとおり群馬で国体があるため、私たちには予選がありません。なので、国体本戦に照準を合わせて、日々努力を続けていきます。

**剣道部** 佐俣 善康

私達剣道部は、現在3年生6名、2年生6名、1年生6名の計18名で日々の稽古に取り組んでいます。

私達は、他校よりも少ない限られた時間の中で、「勝つための剣道」ではなく、「強い剣道」を目指して稽古することを心掛けています。「強い剣道」をするためには他校に劣っている技術力を精神力で補わなくてはなりません。自分の精神を支配できなければ、相手の精神を支配することはできません。そのために私達は、技術力はもちろん、精神力を重点的に養い、まず自分を律するために稽古しています。そして関東大会出場という目標を達成するために、一人一人が高い意識を持ち、切磋琢磨し、努力していきます。また、私達の大きな支えである顧問の先生、OBの方々、保護者の方々への感謝を忘れずに、精一杯頑張りますので、応援よろしくをお願いします。

**弓道部** 高橋 優太

私達弓道部は現在、3年生4名、2年生8名、1年生14名で日々練習に励んでいます。効率のよい練習を行ったり、先生や友人の指導の本質を理解し、体に定着させることで、自己の成長やチーム全体の成長をしてきました。一人一人が自らに目標を課し、それに向かい修練することで、部活動としての活気、雰囲気が出来上がっていきました。これからは2年生が中心となり、高い目標とその実現のために一層の修練を積んでいきます。

顧問の先生をはじめ、OBの方々、保護者の方々などへの感謝の気持ちを忘れることなく、部活のできる環境のありがたさを常に感じながら、関東大会に出場できるよう、これからも精進していきます。さらなる部の発展を目指して頑張ってください。優しく見守りいただくと幸いです。応援のほどよろしくをお願いします。

**応援部** 青山 慎太郎

我々、群馬懸立高崎高等学校応援部は創部以来六十二代を数え、日々母校の発展の為、全力を尽くして参りました。現在、新人二名を迎え総勢五名で活動しております。

昨年度は応援部OB会と協力しながら、常に部員不足の現状を打破すべく部内の意識改革に取り組みました。今までの近寄り難い印象を排し、高生が応援部をより身近に感じる事ができるようになったのではないかと感じております。また、各校OB会を通じて太田高校応援団、桐生高校応援団とも交流を深めて参りました。今後とも他校応援団と交流を深め、群馬県全体の応援活動の発展に繋げていく所存であります。

結びに、我々の活動は皆様の御協力無くして成り立ちません。今後も御理解と御協力の程を御願い申し上げ挨拶とさせていただきます。 押忍

**テニス部** 古島 聖

私達テニス部は3年生20名、2年生16名、1年生12名で活動しています。現在は団体戦に向けて、日々練習に励んでいます。既に引退した3年生の分も一人一人が一球一球を大切に、全力で大会に臨みたいと考えています。

大会で優勝することを目標に毎日練習を積んできました。昨年の大会での悔しさをバネに部員同士で自らを高め合ってきました。選手は共に部活に励んできた仲間の思いを胸に、そして全員で一丸となって全力を出し切れれば優勝も可能だと思います。高崎高校の代表として大会に出場しているのだと自覚し、精一杯戦っていききたいと思います。

最後に岡田先生をはじめとする先生方、保護者の方々への感謝し、全力を尽くして、最後の一球までやり切りたいと思います。これからも応援よろしくをお願いします。

**ソフトテニス部** 清水 大輝

私達ソフトテニス部は、関東大会・インターハイの舞台に立ち勝っていくことを目標に日々練習に打ち込んでいます。また、「社会に出て役立つ人格形成」という事も目標の一つです。

文武両道をかかげる高崎では、必然と強豪校と比べ練習時間は少なくなってしまいます。その中で私達は高い意識を持ち、考え、工夫する力を武器に少しでも練習の質を上げ他校との差を補っています。コートの中だけでなく、学校生活においても妥協はせず、いつでも一生懸命であることが大切だと思います。そして、先輩方が築いてきた伝統や栄光を引き継ぎ、さらなる高みを目指していくつもりです。目標達成のためにもチーム一丸となって力を尽くし、また、顧問の吉澤先生やOB会の方々をはじめとする支えて下さっている方々への感謝の気持ちを忘れずに精進していきますのでこれからもご支援よろしくをお願いします。

目指せ! 全国制覇 高崎高校ソフトテニス部**祝 関東大会 個人出場**ソフトテニス部OB会
会長 丸山 博(68期)



株式会社 大陸不動産

代表取締役 山口正敏 (卓球部・58期) 高崎市宮元町108番地 TEL.027-322-4031



株式会社ケイ・アンド・ティ・
ディストリビューション

代表取締役 富澤 清 (応援部 79期)

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-5 ヤマヨビル7F
TEL:03-5289-8602 FAX:03-5289-8603
MOBILE:080-5029-5006
E-mail:k.tomizawa@knt.distribution.co.jp



産科婦人科 佐藤病院
館出張

院長 佐藤 雄一
スキースケート部OB (86期)

〒370-0836 群馬県高崎市若松町96
TEL.027-322-2243 / FAX.027-322-8248
http://www.sato-hospital.gr.jp/



佐藤小児科内科医院

内科・小児科・循環器科

院長 佐藤 秀樹 スキースケート部OB (86期)

受付時間/8:45~11:30 15:15~18:30

休診日/日曜・祝日・土曜午後

水曜午後は17:00まで乳児健診・予防接種

〒370-0841 群馬県高崎市栄町27-13

TEL:027-322-4498 FAX:027-322-4490

http://www.sato-clinic1959.com/pc

みんなの株式会社

代表取締役 吉田 創 スキースケート部OB (91期)

■組織開発コンサルティング ■研修企画・運営
成果の高まる会議、Innovativeなチーム作りなど、
ご相談・ヒアリングなど随時受け付けております
HP▶ <http://www.companyforall.com>

1級建築士事務所 群馬県知事第2146号

有限会社 田口総合設計

創業51年 群馬県知事(15)98号

有限会社 田口不動産

一級建築士 田口恵一

(74期:ソフトテニス部OB)

〒370-0846

高崎市下和田町一丁目1番1号

TEL.027-322-2492

石田総合保険事務所

石田和久

(75期:ソフトテニス部OB)

〒370-1301 高崎市新町1475-18

TEL.0274-42-0216

製鋼原料・非鉄金属
産業廃棄物収集運搬・計量証明

上越鋼業株式会社

代表取締役社長 波瀲 憲昭 バレーボール部OB (81期)

高崎市中豊岡町560-10 〒370-0871 (八幡第二工業団地)

TEL(027)343-1325(代) FAX(027)343-9569



社会福祉法人 愛善会

鼻高保育園

産休明けから未就学児まで入園随時

園長 國峯 善次郎 (50期 サッカー・山岳)

賢一 (74期 サッカー)

義仁 (106期 和太鼓)

高橋孝史税理士事務所 バレーボール部OB (97期)

税理士 高橋 孝史

〒379-0133 群馬県安中市原市3丁目984-1

TEL:027-329-6242 FAX:027-329-6243

mobile:090-2628-5028

e-mail:ta.takahashi.zei@star.ocn.ne.jp

祝 翠巒体育会40周年 高橋浩生税理士事務所

税理士 高橋 浩生 第4代翠巒体育会会長 バレーボール部(78期)

白井 浩一 水泳部(89期)

〒370-0072 高崎市大八木町3002番地10

TEL.027-363-6303 FAX.027-363-6302

http://www.kaikai-home.com/cpta_hiro-hp/

株式会社 有花園

亀田 慎也 ラグビー部 (88期)

亀田 圭吾 ラグビー部 (94期)

〒370-0806 高崎市中和田町8

TEL.027-322-4875



衣料一筋一世紀

本店カプコロシ

社長 高橋哲人 ラグビー部 (89期)

(株)タカハシ本店 群馬県高崎市鞆町4-9

☎027-323-4821 FAX 027-326-3533

ホームページ <http://www.hontaka.biz/>
本タカブログ http://blogs.yahoo.co.jp/hontaka_web

株式会社BIGWIG

中古車販売・買取・車検・修理

柳通り駐車場

新電力(PPS)代理店

代表取締役 大田部 功 (ラグビー部・85期)

高崎市柳川町19-1 TEL.027-324-8330

(有)立見労務管理事務所

立見 壽士 (硬式野球部 56期)

立見 友孝 (バスケットボール部 63期)

〒370-0074 高崎市下小鳥町74-4

TEL.027-363-1021 FAX.027-362-8818

適塾

塾長 櫻井 健一 (応援部 87期)

www.tekijuku.info

高崎市八島町 29-9 tel 027-310-5514

GSD ホームページ・事務系システム
Global Solution Developer WEBシステムの作成はお任せください。

株式会社ジー・エス・ディー

専務取締役 佐藤 英樹 (応援部 92期)

〒370-0058 高崎市九蔵町25-1 WESTIN I 503号

TEL:027-323-3880 FAX:027-310-2667

URL:<http://www.g-s-d.net> mail:h_sato@g-s-d.net

谷歯科医院

谷 一行 陸上競技部OB (70期)

群馬県高崎市下小鳥町74

TEL.027-362-2121

塚越・石橋司法書士事務所

石橋 修 陸上競技部OB (90期)

群馬県高崎市上並町723

TEL.027-323-5656

高崎市陸上競技協会

<http://www.geocities.jp/takariku2004jp/>

takariku2004jp@yahoo.co.jp

波多野 重雄 陸上競技部OB (77期)

(山岳部79期) 群馬県認定「1社1技術」取得

リフォーム工房

株式会社スカワ

代表取締役 須川 光一

〒370-0120-827-026

高崎市倉賀野町1717

(倉賀野駅南口・駅前通り)

リフォームスカワ

六郷動物病院

獣医師 横坂 和直 山岳部OB (82期)



高崎市筑縄町53-5

Phone:363-6500

小4~中3 補習・高校受験

翠ゼミナール

みどり

山岳部OB (79期) 吉井昭道

応援部OB (85期) 木内寛樹

前橋市総社町総社1520 TEL.027-253-7036

利根郡みなかみ町後閑329 TEL.0278-62-1379



カーエレクトロニクス グッズ&サービス

群馬電装株式会社

本部・サービス部:高崎市江木町117
TEL.027-323-3622 FAX.027-327-6627
<http://www.gunmadenso.co.jp/>
代表取締役社長 川口 昌啓 (剣道部74期)

群馬トヨペット株式会社

前橋市石倉町 2-6-5

TEL 027-251-5111 (代) FAX 027-252-1251
代表取締役社長 大山 駿作 (剣道部71期)

金井勉社会保険労務士オフィス

社会保険労務士 金井 勉

(剣道部 66期)
〒216-0031 川崎市宮前区神木本町2-9-1
TEL.044-948-6591
E-mail kanai7@world.ocn.ne.jp

Yoshihara Clinic

吉原クリニック

内科・脳神経外科・外科



住所 高崎市中泉町649-1
TEL 027-360-6600
FAX 027-360-6610

院長 吉原成哲 (医学博士) 柔道部 75 期

高広産業株式会社 高広設計1級建築士事務所

代表取締役 廣神 芳信

(柔道部・83期)
高崎市大八木町535-1 TEL.027-370-8100

ゆ 近所の秘湯…… 銭湯に行こう

浅草湯

ASAKUSAYU

熱帯魚の泳ぐお風呂屋さん
齋藤 全賢 (水泳部 75期)
営業時間: 14:00~22:00 火曜定休 TEL.027-323-1745
高崎市成田町36-3 (高崎市立北小学校南100m)
<http://www.gunmanet.or.jp/asakusau/>



群馬セラミックス株式会社

代表取締役 小貫 諭 (水泳部 69期)

本社工場 群馬県藤岡市上大塚1713-2
〒375-0054 TEL:0274-22-2096 FAX:0274-24-4974
吉井工場 群馬県高崎市吉井町小串792-1
〒370-2111 TEL:027-387-8677 FAX:027-387-8678
E-mail: onuki@guncera.co.jp
<http://www.guncera.co.jp/>



株式会社山岸製作所

薄肉切削(旋盤)加工のエキスパート

専務取締役 山岸 祐二 (水泳部・79期)
浜川本社工場 高崎市浜川町590-23 TEL.027-360-4100
八幡工場 高崎市剣崎町21-1 TEL.027-387-0505

群馬・栃木で
就職したい学生のための
就職情報サイト
会員登録
無料受付中

就活応援ナビ

「自分らしい、いい就職」=「ふるさとで働く」を応援します。

就活応援団 検索

<http://www.shukatsu-ouen.jp>

●運営/株式会社スパン ●群馬県高崎市八千代町3-17-20 ●TEL.027-310-2081 藤井正弘 (81期 応援部)

テニス部OB (84期)

山口正仁

オーダーメイドの生命保険をお届けしています!
プルデンシャル生命保険株式会社 町田支社
TEL 042-710-2471 携帯090-9309-9492

テニス部OB (83期)

長谷川酒店

焼酎・ワインetc.各種取り揃えております。
長谷川 泰三
高崎市栄町20-1 TEL 027-323-2505

テニス部OB (91期)

原 寛

カネト水産 つりばり・虹鱈料理・手打ちそば
高崎市倉沢町川浦3900-156 TEL.027-378-3132
ホームページ <http://www8.wind.ne.jp/wakaba/>



整形外科

ワイズクリニック

■整形外科 ■リウマチ科 ■リハビリテーション科

院長 吉田 和人 (サッカー部 81期)

URL <http://www14.plala.or.jp/ysc>

診察時間	午前	午後
月～金	9:00～12:30	3:30～7:00
土	9:00～12:00	1:30～4:30

●休診日:木曜・日曜・祝祭日

〒370-0015 高崎市島野町1038-1
TEL:027-353-0550

情報システム株式会社

榎原 一好

(バスケットボール部 79期)

本社 〒370-0032 群馬県高崎市宿大類町1461番地1
TEL.027-350-1277(代) FAX.350-1278

株式会社塚本工務店

塚本 浩史

(バスケットボール部 99期)

本社 〒375-0024 群馬県藤岡市藤岡1848-1
TEL.0274-23-1212(代) FAX.0274-24-2300

株式会社 大和根漬

富沢 慎一・誠佑

(バスケットボール部 99期)

〒370-3334 群馬県高崎市本郷町150-1
TEL:027-343-6007 FAX:027-344-1588

しばやま歯科

院長 柴山 佳行 ラグビー部 (96期)

高崎市矢島町107-102
(高崎駅西口、東横イン斜め向かい側)

TEL.027-393-6480

患者さんに対し家族と思ひ治療を心がけています



広告募集

翠巒体育会事業の充実を図るため、

高崎高校運動部OBの皆様からの会報誌掲載広告を募集しております。

広告を掲載して頂ける方は、各運動部OB会会長または編集委員までご連絡ください。

翠巒体育会役員名簿

(平成 26. 6. 26)

役職	氏名	期	運動部名	電話
会長	高橋 浩生	78	バレーボール	
副会長	清野 哲雄	74	サッカー	
〃	田口 恵一	74	ソフトテニス	
〃	斎藤 全賢	75	水泳	
〃	小池 政一	77	剣道	
〃	波多野 重雄	77	陸上競技	
〃	榊原 一好	79	バスケットボール	
〃	清水 威	85	硬式野球	
〃	大田 功	85	ラグビー	
〃	北村 真行	85	テニス	
〃	坂本 弘	87	バレーボール	
〃	横田 裕正	92	スキー・スケート	
〃(情報部長)	堤 康高	71	卓球	
〃(編集局長)	志田 登	82	柔道	
〃(事務局)	富田 和弘	85	応援	
〃(会計)	吉井 章一	78	山岳	
監査	清水 元	91	硬式野球	
顧問	秋山 賢治	74	応援	
〃	清水 正一郎	75	硬式野球	
〃	國峯 善次郎	50	サッカー	
〃	岩田 武雄	53	バスケットボール	
〃	山口 正敏	58	卓球	
〃	原 到	78	バレーボール	
〃	高橋 孝史	97	〃	
〃	滝野 修司	86	剣道	
〃	萩原 克明	93	〃	
〃	関口 茂樹	63	柔道	
〃	庭田 登志男	68	〃	
〃	伊藤 俊一	92	〃	
〃	永井 正樹	80	陸上競技	
〃	中村 信勝	81	〃	
〃	内田 美樹	77	ラグビー	
〃	福島 早人	77	〃	
〃	今村 孝之	80	〃	
〃	黒石 康暢	81	〃	
〃	永尾 俊弘	70	水泳	
〃	須藤 聡	78	〃	
〃	橋爪 洋介	85	卓球	
〃	小林 大祐	99	〃	
〃	羽鳥 広平	104	〃	
〃	木村 芳之	72	ソフトテニス	
〃	石田 和久	75	〃	
〃	浦野 克彦	78	〃	
〃	佐藤 英樹	92	応援	
〃	小島 光明	106	〃	
〃	國峯 賢一	74	サッカー	
〃	梅澤 義宣	81	〃	
〃	安藤 英彦	86	〃	
〃	小林 均	77	硬式野球	
〃	田中 正宏	79	バスケットボール	
〃	仲澤 賢一	86	〃	
〃	小澤 朋克	99	〃	
〃	松本 基志	77	山岳	
〃	斎藤 英敏	83	テニス	
〃	長谷川 泰三	83	〃	
〃	松本 潔志	84	〃	
〃	神保 裕之	83	スキー・スケート	
〃	佐藤 雄一	86	〃	
〃	沼野 藤雅	89	〃	
〃(編集委員)	堤 康高	71	卓球	
〃	伊藤 祐司	75	水泳	
〃	小池 政一	77	剣道	
〃	須川 光一	79	山岳	
〃	赤沢 正喜	84	硬式野球	

役職	氏名	期	運動部名	電話
理事(編集委員)	櫻井 健一	87	応援	
〃	茂原 賢三	89	陸上競技	
〃	武山 雄海	102	バレーボール	
編集委員	芳賀 弘幸	81	ラグビー	
〃	藤井 正弘	81	応援	
〃	浜名 和也	84	テニス	
〃	木村 晴彦	87	ソフトテニス	
〃	根岸 強	87	サッカー	
〃	寺澤 佑介	95	スキー・スケート	
〃	塚本 浩史	99	バスケットボール	
事務局 局長	境原 尚樹	81	硬式野球	
事務局	柴山 俊広	103	バレーボール	

学校側顧問	
校長	佐藤 功
副校長	市川 敏美
教頭	森泉 孝行
運動部長	田中 利明
バレーボール	柴山 俊広・加邊 一芳・江原 悠一
剣道	栗原 俊夫・加藤 俊介
柔道	田中 利明・小久保 博志
陸上競技	田島 正徳・津久井 俊明・佐藤 幸弘
ラグビー	森田 達哉・萩原 克明・下田 信康
水泳	前田 敏明・吉野 信幸・坂爪 誠
卓球	中島 康彦・長谷川 忠史・江原 悠一
ソフトテニス	吉澤 正明・澤田 徳彦・吉野 信幸
応援	伊藤 信一・加藤 俊介・西村 淳也
サッカー	吉田 卓弥・新井 悟・飯出 得男
硬式野球	境原 尚樹・關根 秀仁・島田 学・井上 貴志
バスケットボール	渡部 健一郎・坂本 直之・岡田 一郎
テニス	岡田 準・中川 浩之・下田 真志・吉澤 正明
山岳	井上 貴智・滝沢 憲一・一倉 行雄・紋谷 清実
スキー・スケート	井上 貴志・塚越 正隆
弓道	栗宮 英文・一倉 行雄・前田 敏明
空手道	遠山 聡・池永 真孝
軟式野球	田島 悦男・沼野 隆・下田 真志
バドミントン	星野 貴紀・市川 高幸

高崎高校運動部OBで、これまでOB会からの案内等が届いてなかった方は、下記OB会長にご連絡いただき各OB会活動にお力添え賜りますようお願い申し上げます。

OB会長名簿

OB会名	会長氏名	期	電話
ソフトテニス部OB会	丸山 博	68	
剣道部OB会	藤木 正行	69	
水泳部OB会	永尾 俊弘	70	
柔道部OB会	鳥居 吉二	73	
サッカー部OB会	清野 哲雄	74	
硬式野球部OB会	清水 正一郎	75	
陸上競技部OB会	波多野 重雄	77	
ラグビー部OB会	内田 美樹	77	
山岳部OB会	松本 基志	77	
バレーボール部OB会	原 到	78	
バスケットボール部OB会	榊原 一好	79	
テニス部OB会	小池 俊明	80	
スキー・スケート部OB会	神保 裕之	83	
応援部OB会	富田 和弘	85	
卓球部OB会	橋爪 洋介	85	

翠巒体育会報バックナンバーは下記URLよりご覧いただけます。
<http://takataka-ob.com/suirantaiikuindex.html>

◎ [志田・柔道・82期] 翠巒体育会が創立40周年を迎えました。翠巒体育会という組織が創られ、そして40年という長い期間世代交代をしながら継続することができたのは、関わられた多くの先輩たちの努力の賜物だと感じております。また、各OB会のしっかりとした活動や現役生徒の変わらない活躍、そして何とんでも高崎の「文武両道」が長く引き継がれていることが翠巒体育会の土台となっていると思っております。私もこの

ような年に、名ばかりの編集局長ではありますが、役員として関わることができ、大変光栄に感じております。また、自分の所属した部だけでなく、高崎の運動部全体の活躍が楽しみになり、応援したい気持ちになりました。これからも翠巒体育会が継続して発展するため、より多くの卒業生に関わっていただき、翠巒体育会の良さを感じていただきたいと思います。強く思っております。